

2022(令和4)年度 出前講義パンフレット

分野	題名	講師	講座	対象	内容
国語教育	近江国と和歌	井ノ口 史 (いのぐち ふみ)	国語教育講座 (日本古代文学)	生徒(中・高) 教員(中・高) 保護者・市民一般	古代から近世まで、それぞれの時代背景を踏まえつつ近江国に関連する和歌を紹介します。近江国(現在の滋賀県内)には、和歌に詠まれた地名が少なくありません。いかなる風景が描写されているのか、和歌を通じて近江国の魅力を再発見することをめざします。
	書とその周辺	中村 史朗 (なかむらしろう)	国語教育講座 (書道)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	人はどのようにして「書之美」を自覚するようになったのでしょうか。王羲之や空海の筆跡はどこがそんなに上手いのでしょうか。生活の場において“手書き”の機会が減って、書という表現の領域は失われてしまうのでしょうか。書と周辺のさまざまな問題を取り上げます。講義と実習をあわせて実施することも可能です。
	国語教育における 学びの探究	長岡 由記 (ながおか ゆき)	国語教育講座 (国語教育学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特)	近年、さまざまな言語活動を取り入れた国語学習が行われています。国語の学習における学びの手応えは必ずしも得やすいものではなく、言語活動を取り入れた学習の成果と課題も明らかになりつつあります。そこで、演習を交えた講義を行い、国語教育における学びについて具体的な学習材や学習指導法を取り上げながら探究していきたいと思えます。
	唐詩を読もう	二宮 美那子 (にのみや みなこ)	国語教育講座 (中国古典文学)	生徒(中・高) 教員(小・中・高) 市民一般	中国古典詩を代表するのが唐詩(唐代に作られた詩)です。唐詩には、古くから日本人に愛されてきた多くの素晴らしい作品があります。この講義では、作品の背景を丁寧に解説しながら、漢字一文字一文字にこめられた意味を大切にして唐詩を読み解き、その豊かな世界をご紹介します。
	方言を考える	松丸 真大 (まつまる みちお)	国語教育講座 (日本語学/方言学)	児童・生徒(小・中・高) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	ひとくちに日本語といっても、その内実は人によって、または場面によって異なります。その中でも地域による言葉の違い(=方言)は多くの人が興味を持つテーマです。この講義では日本語の方言をとりあげ、なぜ・どのように方言があるのかを考えていきます。この授業を通して、言葉について考えることの楽しさに気づいていただければ幸いです。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
社会科教育	地理から考える物語の舞台	安藤 哲郎 (あんどう てつろう)	社会科教育講座 (地理学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・特) 市民一般	説話などの古典を読むと、いくつか地名が出てきます。こういった地名と物語の内容を手がかりとして地図を作りながら考えると、物語が作られた時代の人々が物語の舞台となった場所についてどのような認識を持っていたのか分かることがあります。地図やパネルを使いながら、地理から物語の舞台について一緒に考えてみましょう。
	史料を基礎とした日本史(前近代史)	宇佐見 隆之 (うさみ たかゆき)	社会科教育講座 (日本史学/ 日本中世史)	児童・生徒(小6以上) 教員(小・中・高)	歴史の記述は、すべて史料に基づいて行われています。このため、記述の背景にある史料の理解なしに理解できません。史料と教科書の記述を照らし合わせながら日本前近代史への理解を深めましょう。
	古代ローマ史にみる曖昧な「史実」	大清水 裕 (おおしみず ゆたか)	社会科教育講座 (西洋史/ 古代ローマ史)	生徒(中・高) 教員(中・高) 市民一般	歴史学は、様々な史資料を用いて過去の社会を再構成しようとする学問です。しかし、そこで用いる史資料が互いに矛盾していたり、あるいは荒唐無稽だったりすることは少なくありません。本講義では、古代ローマ史の中から有名な事件を取り上げ、人口に膾炙している「史実」の曖昧さと、「史実」を確定しようとする歴史学の営みをご紹介します。
	論理学初歩	齋藤 浩文 (さいとう ひろふみ)	社会科教育講座 (哲学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	論理学への入門として、以下の2つのいずれか、または、両方について講義します。 (1) 形式論理学の初歩について紹介しながら、論理とは何か、そして、論理的であるとはどういうことを考えます。 (2) 非形式論理学を背景として成立したクリティカル・リーズニングについて、その基本の紹介と実践を目指した演習を行います。
	滋賀の近代史	馬場 義弘 (ばんば よしひろ)	社会科教育講座 (政治学/ 歴史学)	市民一般	明治前期に滋賀県の県令(のちの県知事)を務めた松田道之(初代、明治4年11月～明治8年3月)、籠手田安定(二代、明治8年5月～明治17年7月)を中心に、近代国家の形成と滋賀県政について考えます。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
社会科教育	景観写真の観賞と教材化	松田 隆典 (まつだ たかのり)	社会科教育講座 (人文地理学)	児童・生徒(小・中・高) 教員(小・中・高) 保護者・市民一般	WEB上に多く掲載されている景観写真の観賞の仕方について、実例をもとにわかりやすく説明するとともに、社会科や地歴科・公民科のための教材化の可能性について示します。具体的テーマとしては、視覚的にわかりにくい気候を植生写真で説明したり、国際理解のために必要な社会的コンテキストを都市景観写真などで紹介します。
	社会調査に触れる	宮本 結佳 (みやもと ゆか)	社会科教育講座 (社会学)	市民一般	近年、パソコンを利用する機会が増え、表計算ソフトが身近になったこともあって様々な場面でアンケート(質問紙調査)を実施する機会が増えています。本講義ではアンケートをつくる時、一体どのようなことを気をつけていけばいいのかについてご紹介します。
	身近な事件や話題をもとに法・裁判の役割を考える	渡辺 暁彦 (わたなべ あきひこ)	社会科教育講座 (法律学/ 日本国憲法)	児童・生徒(小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	私たちが「裁判員」として裁判に関わる時代となりました。法や憲法、そして裁判に対する関心も高まっています。本講義では、最近の身近な事件や話題を取り上げ、実際の判決文なども活用しながら、日本国憲法や裁判についての理解を深めていきたいと考えています。
数学教育	正多面体とその数理	篠原 雅史 (しのはら まさし)	数学教育講座 (離散幾何学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・高・特) 保護者・市民一般	正多面体はプラトンの多面体として古くから知られていて、正四面体、正六面体(立方体)、正八面体、正十二面体、正二十面体の5種類があります。実際に正多面体を作ったり、展開したり、計算したりすることを通して、正多面体の対称性やその美しさを体感してもらうことを目標とします。
	無限の考え方	神 直人 (じん なおんど)	数学教育講座 (解析学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	私たちは小学校の頃から無限の考え方を利用しています。無限の考え方を利用すると多くのことが明らかになる一方で、無限のパラドックスというものも存在します。この無限の持つ二面を紹介することで算数・数学の面白さ、考えることの楽しさに気づいてもらえればよいと思います。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
数学教育	非線形現象の解析	鈴木 宏昌 (すずき ひろまさ)	数学教育講座 (解析学)	生徒(高) 教員(中・高)	私たちの身の回りで見られる様々な非線形現象は、しばしば数理モデル方程式で表されます。本講義では、数理生物学における生物個体群のモデルや、化学反応のモデル方程式の解析を通じて、数学と自然科学との関わりの一面を紹介します。モデル方程式にもとづいた計算機シミュレーションも紹介する予定です。
	算数・数学教育の理論と実際	高澤 茂樹 (たかざわ しげき)	数学教育講座 (数学教育学)	教員(小・中)	算数・数学科の教授・学習過程について、理論的研究を教育実践にどのようにいかすかを検討する。特に、教師として子どもたちの数学的認識をどのように捉え、それを基にしてどのように指導するべきかについて考えたい。
	江戸時代の数遊びから見る現代数学	長谷川 武博 (はせがわ たけひろ)	数学教育講座 (代数学)	生徒(高) 教員(中・高)	江戸時代の和算家 吉田光由(みつよし)によって書かれた和算書「塵劫記(じんこうき)」に収録されている文字遊び・数遊びに「目付字(めつけじ)」・「継子立(ままこだて)」などがあります。これらの遊びを紹介し、その背後に隠れている数学を考えます。具体的にはn進法や数列などが隠れています。
	数学的ジレンマを使った対話による算数・数学科授業	渡邊 慶子 (わたなべ けいこ)	数学教育講座 (数学教育学)	教員(小・中・高)	「算数・数学科の授業で先生と児童・生徒たちが如何にして対話をし、新たな知識を作り上げていくのか」について、具体的な教材(学習・指導の内容、具体的な問題)をもとに議論します。対話型授業の構造と展開を探求した上で、「話し合い」を取り入れた授業における教師の役割についても議論したいと思います。
理科教育	細胞をつくっている物質・脂質	糸乗 前 (いとのり さき)	理科教育講座 (生化学)	生徒(中・高)	生物を形作っている細胞は脂質でおおわれた袋で、その外側には特有の成分が含まれています。その成分を調べることは、細胞にとってあるいは生物にとって重要な情報を与えてくれます。本講義では「セラミド」などの、どこかで聞いたことのある脂質を含め、色々な生き物の脂質の話とどのように調べるかなどのお話をします。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
理科教育	太陽の科学	大山 真満 (おおやま まさみつ)	理科教育講座 (太陽物理学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特)	太陽は、宇宙に浮かぶ平凡な星の一つに過ぎない。 しかし、地球に直接的に影響を与え、その姿を詳細に観測できる唯一の恒星である。この太陽に焦点をあて、最新の画像や動画も用いながら、太陽の素顔を紹介する。
	コミュニケーション トレーニング	加納 圭 (かのう けい)	理科教育講座 (科学コミュニケーション)	生徒(中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	滋賀大学に通う大学生が授業に求めていること第1位(滋賀大キャリア通信：サクス2013年1月7日号より)であった「コミュニケーション能力」の向上を目指したトレーニングプログラムです。科学の内容について「伝える・伝わる・分かち合う」ができるようになります。
	物性物理学入門	恒川 雅典 (つねかわ まさのり)	理科教育講座 (物理学／ 物性物理学)	生徒(高) 教員(高)	「物性」といってもなじみが薄いかもしれませんが、実は「物性物理学」は素粒子・原子核・宇宙物理学と並ぶ分野の1つです。最新の科学技術を根底から支えている物質科学の中でも物質の成り立ちや現象などを、量子力学や統計力学などの物理的な考え方・手法の立場から研究するのが「物性物理学」です。本講義では、身近な例をあげながら「物性物理学」についてお話しします。
	私たちの化学	徳田 陽明 (とくだ ようめい)	理科教育講座 (無機化学／ 物理化学)	教員(小・中・高)	化学が私たちの暮らしをいかに豊かなものとしているかについて講習します。また、小中高での学びがどのように大学に接続するのかについて酸とアルカリをテーマに説明します。準備や片付け(廃棄を含む)の簡単な化学の実験を体験して頂き、生活用品を使った実験についても紹介します。
	遺伝情報とは何か？	古橋 潔 (ふるはし きよし)	理科教育講座 (生物学)	生徒(高)	生命科学は近年目覚ましい進歩を遂げていますが、DNAと遺伝子の違いはおわかりでしょうか？この講座では遺伝情報がどのようなもので、どのように使われているかについて、身近な例を挙げて、しかし最先端の技術によって得られた知見も盛り込みながら説明します。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
音楽教育	オーボエ演奏法／木管アンサンブル	中根 庸介 (なかね ようすけ)	音楽教育講座 (オーボエ／木管合奏)	生徒(中・高) 教員(中・高) 市民一般	オーボエの経験者を対象に、基本的奏法を学び、練習曲集などを用いて音楽的な表現を学びます。木管を中心としたアンサンブル(木管四重奏、五重奏、ピアノと管楽の五重奏、六重奏、など)を通して、より高度な音楽作りを学びます。
	楽しい音楽づくり	林 睦 (はやし むつみ)	音楽教育講座 (音楽教育)	教員(幼・小・中・高・特)	音楽づくり、創作のワークショップをします。教師向けのワークショップや講習会、児童・生徒向けの授業のデモンストレーションもします。楽器がなくても、ピアノが弾けなくても、おもしろい音楽を作る方法があります。楽しく音楽をつくり、子どもたちが自らの表現に目覚める瞬間を一緒に体験できたらと思います。
	音による表現をめぐって	若林 千春 (わかばやし ちはる)	音楽教育講座 (作曲／音楽理論)	教員(中・高・特) 保護者・市民一般	お芝居の台詞に、その場に適した演技があるように、音楽にもそれぞれ適切な表現の方向付けがあります。「ここで音楽はどんな台詞を演じているの?」という問題を、一緒に考えてみましょう。楽譜に書かれていない「とても大切なこと」を見つけたり、簡単な音楽文法のおさらいや、創作の実践などを通して、音による表現を共に深めてゆく場を体験してみましょう。
	本当の「声」と出会う ～ヴォイス トレーニング～	渡邊 史 (わたなべ あや)	音楽教育講座 (声楽)	児童・生徒(小4年～・中・高) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般 その他(企業社内研修、 マナー講座等)	人間の表現ツール、コミュニケーション手段として「声」は重要な役割を担っています。みなさんの「声」の可能性を見つめなおしてみませんか? 発声ストレッチ、呼吸トレーニングを経て、身体を芯から使いながら「声」と向き合う時間です。歌に、そして朗読にも、ちょっとしたコツで生まれる大きな変化を楽しみにご参加ください。その「声」を用いた歌唱表現まで踏み込むことも可能です。歌唱、合唱等のブラッシュアップにも、機会をご活用ください。
美術教育	子どもの絵の見方、描かせ方、造形遊びのすすめ方	新関 伸也 (にいぜき しんや)	美術教育講座 (美術教育)	教員(幼・小・中)	子どもの絵の見方や描かせ方、また「造形遊び」の具体的な指導方法について、各学校園の先生方の課題に応じながら講義や演習を行います。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
美術教育	入門アート ～ラクガキから アール・ブリュット まで～	藤田 昌宏 (ふじた まさひろ)	美術教育講座 (彫刻／現代美術)	児童・生徒(小4年～・中・高) 教員(幼・小・中・高・特) その他(福祉関連作業所など)	ラクガキを描くことから始めます。ラクガキを見せあいっこし、ラクガキの名作を鑑賞？し、そこから見えてくる表現の楽しさ・不思議さを感じてみてください。そこからの展開は、「アールブリュット」「速写クロッキー」「エガオ絵」「目隠し彫刻」などなど、受講してくださる顔ぶれやリクエストでアレンジします。
	学びが深まる 「造形遊び」 (子供の主体的な 探究活動としての 図画工作)	村田 透 (むらた とおる)	美術教育講座 (美術科教育)	児童(4～5歳児・小) 教員(幼・小)	「造形遊び」は、準備や後片付けが大変で、抵抗があると思いませんか？「造形遊び」で、子供は楽しく意欲的だけど、「遊びの中に学びはあるの？」と思いませんか？「個性的だよね」「いろいろあっていいよね」で、子供の「造形遊び」への評価を思考停止にしていると思いませんか？「造形遊び」には、表現の多様性(現象)と学びの深まり(探究)があります。現場で明日から実践できる題材体験を通して、「造形遊び」の学び・楽しさ、題材開発、指導や支援の在り方について学びます。
	グラフィックデザイン の世界	世ノ一 善生 (よのいち よしお)	美術教育講座 (グラフィックデザイン)	生徒(中・高) 教員(小・中・高) 保護者・市民一般	グラフィックデザインでは、ポスターや新聞広告などの広告物、パッケージ、雑誌、書籍装丁など様々なものを対象としますが、これらの多くは大量生産されて消費されてゆきます。しかしそのようなものだから、漫然と作られた価値の低いものという訳ではありません。ここでは図版資料を提示しながらその素晴らしさについてお話したいと思います。
保健体育教育	①ストレスと上手に 付き合う方法 ②良質な睡眠とは	大平 雅子 (おおひら まさこ)	保健体育講座 (衛生学/健康科学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	①誰もが聞いたことがあるストレスという言葉。その言葉の本来の意味を解説しながら、ストレスと「上手に付き合う」方法について様々な視点から考えていきます。 ②エビデンスに基づいて、良質な睡眠とは一体何かを考えていきます。
	生理学の基礎に 基づいた効果的な 運動・トレーニング	松田 繁樹 (まつだ しげき)	保健体育講座 (体力科学/生理学)	生徒(中・高) 教員(中・高) 市民一般	運動・トレーニングを行う際には、ヒトの生理的特徴や科学的知見に基づいた合理的なトレーニングをするべきです。本講義では、運動生理学の基礎を踏まえたうえで、効果的な運動・トレーニングについて考えていきます。 ※この講義は、令和4年10月～対応可能です。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
保健体育教育	運動好きの子どもを育てる体育の授業づくり	山田 淳子 (やまだじゅんこ)	保健体育講座 (体育科教育)	児童(幼・小) 教員(幼・小)	教師も子どもも運動が大好きになれる体育科の授業づくりを、実技や講義を通して学んでいただければと思います。 体育科の授業づくりのヒントとなる事柄を紹介していきます。 子ども向けにも模擬授業を行い、子どもも教師もともに学ぶ場を提供したいと思います。
技術・情報教育	金属材料のこれから	磯西 和夫 (いそにしかずお)	技術教育講座 (金属加工学／粉末冶金)	生徒(中・高) 教員(中・高) 市民一般	金属材料は最も多く用いられている材料の一つである。最近、既存の金属をしのご材料特性が求められている。 このような材料は溶解-塑性加工-切削による従来からの加工が不可能な場合が多い。その一解決法が粉末を用いた素材製造・加工・成形法である。粉末冶金法による材料開発と加工について解説する。
	教育工学的手法を用いた教育環境の改善	岩井 憲一 (いわいけんいち)	情報教育講座 (認知科学／教育工学)	生徒(中・高) 保護者	教育環境は、慢性的な人材・予算不足等の問題から、これまで以上に質の高い教員の採用や情報ネットワークの導入による資源の共有、および、新しい教育手法の検討が求められています。 本講座では、これまで行ってきた学習指導案の電子化や情報ネットワーク環境等の ICT 導入事例を通じて教育環境の電子化について提案します。
	一本の木から椅子をつくる	岳野 公人 (たけのきみひと)	技術教育講座 (技術教育／環境教育)	教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	森林環境の有効利用の観点から、伐採から製材、椅子作りのプロセスをすべて人間の手でおこなう方法を紹介する。 米国では、グリーンウッドワーキングといい、日本の木地師が山にこもって、器づくりをしていたころの技術と同様の伝統的な手法である。作業できる場所が確保できれば、実際の作業を体験するワークショップを開催することもできる。
	動物の行動を真似るロボット	右田 正夫 (みぎたまさお)	情報教育講座 (認知科学／ロボット工学)	生徒(高)	外界からの情報に応じて、自ら適切な行動を選択できるロボットを総称して「自律ロボット」といいます。 自律ロボットが動作する環境はとても複雑ですが、さまざまな動物の行動様式を真似てロボットの行動をデザインすることでうまく対処できる場合があります。本講義では、そのような自律ロボットの研究事例を紹介します。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
技術・ 情報教育	複雑系入門 ーフラクタルとは 何だろうー	水上 善博 (みずかみ よしひろ)	情報教育講座 (コンピュータ シミュレーション)	生徒(高)	海岸線や川の流れ、雲の形や木の枝ぶりなど、自然の造形には複雑な形をしているものが多く見られます。複雑な形をした図形の特徴を表す方法にフラクタルがあります。 本講義では、フラクタルという考え方を分かりやすく解説し、形の複雑さを知るための指標としてのフラクタル次元の求め方を学びます。
家庭科 教育	何をどう食べる？ ー自分のための 食べ物、食べ方ー	久保 加織 (くぼ かおり)	家政教育講座 (食物学)	教員(小・中・高・特) 市民一般	誰もがいつでも食べたいものを食べられる現在であるからこそ、どの年代の人でも自分の健康のためには何をどれだけどのように食べるのがいいか、きちんと理解しておくことが大切です。 様々な情報と食品表示が氾濫する中で、自分のための食材選びと食べ方について考えます。(具体的にどのような点に重点をおくかは、対象者に応じて相談させていただきます。)
	くつろぎの住まい	田中 宏子 (たなか ひろこ)	家政教育講座 (住居学)	児童・生徒(小・中・高) 教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	住まいは、雨や風、暑さ・寒さや様々な過酷な自然現象から人々を守る役割があります。また、そこで暮らす人々がゆっくりと休養し、エネルギーを蓄えるなど、住まいは人々の心身の健康を維持する役割ももっています。これらの役割を果たすためにはどのような工夫が必要でしょうか、ともに考えてみたいと思います。
	家族の機能	平松 紀代子 (ひらまつ きよこ)	家政教育講座 (家庭経営学)	児童・生徒(幼・小・中・高) 教員(幼・小・中・高) 保護者・市民一般	家族の存在はどのような機能を果たしているだろうか。 社会で一番小さい組織(システム)である家族について、客観的に振り返り、時代、国、あるいは同じ時代に同じ地域に暮らしていても異なる家庭の文化にも目配りしつつ、それぞれの価値観の違いをふまえ、それぞれの価値観を尊重することの大切さについてお話します。
	衣生活と環境	與倉 弘子 (よくら ひろこ)	家政教育講座 (被服学)	教員(小・中・高・特) 市民一般	環境問題に配慮した衣服の着装行動について解説します。 衣服による気候の調節と省エネルギー(暑さ寒さに応じた着方、クールビス・ウォームビズなど)、有害紫外線と健康の関わりや衣服による紫外線対策について、衣服のリユース・リサイクルなど、環境保全に関わる衣生活の問題について考えてみましょう。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
英語教育	人間の言葉の能力について:母語の獲得、外国語の習得と脳のはたらき	大嶋 秀樹 (おおしま ひでき)	英語教育講座 (英語科教育/ 言語心理学)	児童・生徒(小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	ことばの能力は、生き物の中で、人間だけが持つ能力です。 人間は、ことばを覚え、ことばを使ってコミュニケーションをします。 ことばの能力には、音声、語彙、文法、意味の領域で、脳の活動が大きく関わっています。 講義では、人間の持つことばの能力、ことばの能力と脳の働き、母語の獲得、外国語の習得について、最新の言及の知見にも触れながら、話を進めようと思えます。 ※令和4年度は、9月内までの対応のみ可能になります。
	イマージョン教育と英語学習	田中 佑美 (たなか ゆみ)	英語教育講座 (英語教育学)	教員(小・中)	本講義では、イマージョン教育と英語学習、特に英語学習に対する動機づけについてお話しします。 イマージョン教育はカナダで始まった第二言語を使って理科や社会などの教科を指導するバイリンガル教育の一つです。 日本における英語によるイマージョン教育にも触れながら、英語を通して教科を学ぶことによる英語学習と英語学習に対する動機づけについてご紹介いたします。
	アメリカ小説を読む	林 直生 (はやし なお)	英語教育講座 (アメリカ文学/ アメリカ文化)	市民一般	詩や小説などの文学作品は、それ自体が独立して存在するのではなく、作家が作品を執筆した当時またはそれ以前の時代の社会や文化と密接な関わりを持っています。 この講義では、主に 20 世紀前半のアメリカで書かれた小説を取り上げて、作品とその背景について見ていきます。
	言語学への招待	板東 美智子 (ばんどう みちこ)	英語教育講座 (言語学)	生徒(高) 教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	・なぜひとはことばをもっているのか(言葉の起原) ・なぜひとは3歳ぐらいになるとことばをしゃべり始めるのか(普遍文法) ・アメリカ人の子供のように学習すれば日本人も英語がぺらぺらになるのだろうか(言語臨期期仮説) ・ことばのかたち・いみ・ならび(形態論・意味論・統語論) ・会話の意図は会話に出てこない(語用論) などについて紹介します。
学校教育	カウンセリング マインドを育む	芦谷 道子 (あしたに みちこ)	学校教育講座 (臨床心理学)	教員(幼・小・中・高) 保護者・市民一般	さまざまなところの問題が起こっている現代において、どのように人と関わればよいか、どのように子育てや子どもの心理的援助をすればよいか、悩みを抱えておられる方も多いことと思います。 自己理解や他者理解のヒントとなるよう、カウンセリングの基本的な概念や、カウンセリングマインドについて、絵本や教材、体験を通して学んでいきます。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
学校教育	教師－生徒関係の変容とこれから	太田 拓紀 (おおた ひろき)	学校教育講座 (教育社会学)	教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	現在、教師と児童・生徒との関係性における危機が広く叫ばれています。では、過去の教師と生徒の関係は良好だったのでしょうか。そもそも、問題視されはじめるのは、いつ頃からでしょうか。この講義では、わが国における教師－生徒関係の歴史的变化を概観し、その上で、今後の望ましい関係性のあり方について考えてみたいと思います。
	他者理解のコミュニケーション心理学	蔵永 瞳 (くらなが ひとみ)	学校教育講座 (社会心理学)	教員(幼・小・特) 保護者・市民一般	人間は、他者とたくさんのコミュニケーションをとりながら生活する生物です。本講座では、対人コミュニケーションのメカニズムとつまずきのポイント、人間が持つコミュニケーション能力の基盤である「他者の気持ちを理解する」力について、心理学の観点からお話します。
	比較教育学で教育を考える	児玉 奈々 (こだま なな)	学校教育講座 (比較教育学)	教員(幼・小・中・高・特) 保護者・市民一般	比較教育学は、諸外国の教育事象を対象に教育と社会のつながりを考察する学問領域です。この講義では、現代の日本の学校で課題となっていることの諸外国における状況や各国の解決策を見ていきます。諸外国の教育事象の考察を通して、日本の学校の当たり前が海外の学校では当たり前ではないことに気づき、教育と社会のつながりを知り、さらには、人間にとって教育や学校はどんな意味を持つものなのか、教育や学校の本質について考えることを目指します。
	教育法規を読み解く	藤村 祐子 (ふじむら ゆうこ)	学校教育講座 (教育制度学)	教員(小・中)	教育法規は、教育の枠組みとなる重要な要素です。様々な教育改革が進められる中で、教育法規に目を通し、教育に何が求められ、どの方向に進もうとしているのか、改めて考えてみたいと思います。
	『エミール』を読む～生きるための教育と大人の役割について	三輪 貴美枝 (みわ きみえ)	学校教育講座 (教育学・教育哲学)	保護者	ルソーによって書かれた『エミール』は、人が教育をまさに「生きるために」必要とした時代のものであり、その思想は時代や文化の違いを越えて現代の私たちにも「生きること」の意味を考える材料を提供してくれます。それが書かれた時代状況等にも触れながら、“生きるための教育と大人の役割”について考えます。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
学校教育	キャリア教育の理解と推進	若松 養亮 (わかまつ ようすけ)	学校教育講座 (キャリア心理学)	教員(幼・小・中・高・特)	進路指導や就職指導と混同されがちなキャリア教育について、その出自や必要性、中教審答申に示された内容について解説し、具体的な推進方法や運営上の課題について、これまでの実践例にふれながらお話しします。
	子どもが「こころ」に気づく時	渡部 雅之 (わたなべ まさゆき)	学校教育講座 (発達心理学)	教員(幼・小・特) 保護者・市民一般	幼い子どもたちは、自分自身の中にある「こころ」という存在を、十分に意識することができません。他の人間にも「こころ」があり、それが自分の「こころ」と同じ働きをしていることに気づくことで、他者への共感や理解が深まります。こうした「こころ」への気づきの発達過程についてお話しします。
幼児教育	幼児期の遊びを豊かにする環境構成	山本 一成 (やまもと いっせい)	幼児教育講座 (幼児教育学)	生徒(高) 教員(幼・小)	幼児は遊びを通して様々なことを学んでいきます。そして、幼児が夢中になって遊ぶためには、子どもたちの遊びを可能にする環境が整えられている必要があります。この講座では、子どもの遊びの大切さや、遊びにかかわる環境の在り方について、理論と実践の両面から学んでいきます。
障害児教育	障害の原因と最近の話題	江原 寛昭 (えはら ひろあき)	障害児教育講座 (小児神経学)	教員(幼・小・中・高・特)	近年、遺伝医学などの研究の急速な進展により、病気や障害の原因の解明が急速に進展しました。この講義では、それらの研究の成果を中心に、障害に関するトピックスを概説します。
	ちょっと気になる子どもたちの発達と教育	窪田 知子 (くぼた ともこ)	障害児教育講座 (特別支援教育)	教員(幼・小) 保護者	私たちの身のまわりにいる“ちょっと気になる子どもたち(主に、発達障害の子どもたち)”のことをどう理解すればよいのか？家庭や学校でどのような関わりをすれば、彼らの健やかな育ちを支え励ますことができるのか？保護者とうまく連携するには…？などのテーマについて、一緒に考えてみたいと思います。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
障害児教育	障害のある子の発達と教育	白石 恵理子 (しらいし えりこ)	障害児教育講座 (障害心理/ 障害児教育)	教員(幼・小・中・高・特) 保護者	主として知的障害や発達障害をもつ子どもたちの発達と教育について考えます。 (発達の時期等については、ご相談に応じます。)
	支援の必要な子どもと教育	羽山 裕子 (はやま ゆうこ)	障害児教育講座 (障害児教育)	教員(小・中)	通常学校に在籍する支援の必要な子どもたちは、学校生活のどこにつまずきを抱えがちなのか、どのような支援が可能なのか、一緒に考えていきたいと思えます。
	「気になる」児童・生徒の発達の理解と支援	松島 明日香 (まつしま あすか)	障害児教育講座 (障害児心理)	教員(幼・小・中・特) 保護者	友達とトラブルになる、じっとしてられないなど、対人面や行動面において「気になる」児童・生徒の存在が注目されています。その支援と対応には彼らの困難さを発達の的に理解していくことが重要です。本講義では、この時期の発達を通して「気になる」児童・生徒の困難さをどのように理解し、対応していけば良いのかについて考えます。
環境教育	湖沼の生態系	石川 俊之 (いしかわ としゆき)	環境教育講座 (湖沼生態学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	湖沼の水の中には一見すると何もみえないように見えます。しかし、そこには目に見えない小さな生き物が活躍する実に豊かな世界があります。琵琶湖を例に生物と生息環境の関係について考え、自然環境を大切にするためにできることを考えます。
	食料生産と環境	森 太郎 (もり たろう)	環境教育講座 (園芸学/植物病理学)	児童・生徒(幼・小・中・高・特) 教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	私たちの生活に欠かせない食料生産と環境との関係について、食料生産は環境にどのような影響を与えているのか？ 一方、食料生産は環境からどのような影響を受けているのか？ の観点から講義し、持続可能な食料生産について考えます。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
教職 大学院	教師の変容と省察を 促す研修会の創造	青木 善治 (あおき よしはる)	高度教職実践専攻 (教育方法学)	教員(小・中)	「主体的・対話的で深い学び」の実現の上で不可欠な要因があります。それは、そもそも教師が一人ひとりの子どもの学びの姿をしっかりとらえることができなければ始まりません。しかしながら、教師自身の見方や感じ方を一人でとらえ直すことはなかなか難しいことです。そこで、令和2年度まで新潟県内の小学校校長として研修による学校経営を行ってきた経験もいかし、私たち教師が生涯に渡って学び続け、変容し省察しやすい研修会を授業研究時の事後協議会を活用して行います。
	コーチングを意識するだけで子どもが変わる○ ○の方法 ～子どもを伸ばす先生、ダメにする先生、その違いはどこにあった！	青木 善治 (あおき よしはる)	高度教職実践専攻 (教師教育)	若手～中堅教員(小・中)	子どもを伸ばす先生、ダメにする先生、その違いはどこにあるのでしょうか。実は、コーチングを意識するだけで子どもが変わる様々な方法について、具体的に楽しみながら紹介します。令和2年度まで新潟県内の小学校校長として学校経営を行ってきた経験もいかして行います。
	作品をみる・つくる、 楽しく鑑賞する指導の アイデア	青木 善治 (あおき よしはる)	高度教職実践専攻 (美術科教育)	教員(幼・小・中)	新潟県立近代美術館勤務の経験もある講師が、「対話型鑑賞(朝鑑賞)」や「アートカード」を用いた活動など、楽しく鑑賞する指導のアイデア満載な研修会を行います。
	学校危機管理	今井 弘樹 (いまい ひろき)	高度教職実践専攻 (学校経営)	教員(小・中)	今日、学校をとりまく環境には様々な危機が存在します。特に学校における不祥事は、学校教育を根底から支える「信頼」を揺るがす大きな課題です。自身が対応に関わったものや近年の事例から、事件・事故の発生前、発生直後、発生後の学校管理や取るべき対応について、具体的に分析・検証し、組織対応の内容や課題について考えていきます。
	リーダーシップと カリキュラムマネジメント の推進	今井 弘樹 (いまい ひろき)	高度教職実践専攻 (学校経営)	教員(小・中)	小中学校でのカリキュラムマネジメントの考え方を整理し、推進するにあたって、学校リーダーシップの側面から考えます。また、地域に開かれた教育課程の実現を目指すカリキュラムマネジメントの取組みについて、演習をしながら、その充実について考えていきます。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
教職 大学院	学校のビジョン形成と 評価の手法	大野 裕己 (おおの やすき)	高度教職実践専攻 (学校経営学/ 教育制度学)	教員(主に小・中・高校)	今日の学校経営改革下で各学校に求められるビジョン形成やその評価の考え方・手法について、学校組織開発や内外連携構築と関連して整理・検討します(講義・演習・コンサルテーション)。 ※学校関係者評価や学校第三者評価実施への関わりについても、本務に支障のない範囲(年度数件程度)で対応できます。
	算数・数学科の 授業づくり	大橋 宏星 (おおはし こうせい)	高度教職実践専攻 (算数・数学教育)	教員(小・中)	主体的・対話的で深い学びを目指した授業展開について、実際の授業や指導案を通して検討します。
	幼児の健康と生活	奥田 援史 (おくだ えんじ)	幼児教育講座 (健康教育)	教員(幼) 保護者	幼児の健康と生活の関連について概説します。 また、「幼児期運動指針」(文部科学省)を解説します。
	暮らしと消費と環境	岸田 蘭子 (きしだらんこ)	高度教職実践専攻 (家庭科教育)	教員(小・中・高)	新学習指導要領でも重視されている「消費と環境」についての教材開発や授業実践についての解説を行います。受講者主体のワークショップ型の講座で、小・中・高対象ですが、学校種別でも合同型でも対応できます。
	社会科の学力と パフォーマンス評価	岸本 実 (きしもとみのる)	社会科教育講座 (社会科教育)	教員(小・中・高)	社会科の思考・判断・表現の学力を身につけさせるために、パフォーマンス評価の指導と実践が求められています。 授業の中の15～20分の中心活動、1時間そして1単元の授業など、生徒の思考・判断・表現のパフォーマンスをどのように指導し、評価すればよいのか、ワークショップ形式で考察します。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
教職 大学院	新しい時代が 求める資質・能力 を伸ばす教育課程・ 指導・評価	岸本 実 (きしもとみのる)	高度教職実践専攻 (教育方法学)	教員(小・中・高)	新しい学習指導要領により整理された、新しい時代が求める資質・能力を伸ばすためには、学校を基礎に教育課程を編成し、カリキュラムマネジメントを適切に実施していくことが求められています。また単元や授業において確実にその資質・能力を身につけさせる 学習指導と評価の在り方が問われています。本講座では、学校、学年、教科など学習者の状況に合わせて、これらの問題を考察します。
	国語科の授業づくり	北村 拓也 (たむら たくや)	高度教職実践専攻 (国語科教育)	教員(小・中)	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科の授業づくりについて、実際の授業や指導案を通して検討します。
	体育授業における 指導と評価の一体化	辻 延浩 (つじのぶひろ)	保健体育講座 (体育科教育)	教員(小・中・高)	子どもたちが学び合い育ち合う体育授業はどのように実現できるのか。いま教師に求められる考え方や指導性はどのようなものか、協同的な学びをどのようにデザインし、評価していけばよいのか等、学習集団づくりの理論と方法について考えていきましょう。
	自然景観と自然災害／ 防災教育と学校安全	藤岡 達也 (ふじおか たつや)	理科教育講座 (科学教育／ 防災教育)	児童・生徒(小・中・高) 教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	本講義では、次の3つのテーマを取り扱っています。テーマの選択等は可能です。 ① 自然と人間との関わり(持続可能な社会とこれからの環境教育) ② 自然景観の形成・活用と自然災害(国立公園・ジオパークと近年発生した自然災害など自然の二面性について) ③ 防災教育と学校安全・学校危機管理(子供を事件・事故災害から守るために)
	授業実践の事例研究	堀江 伸 (ほりえ しん)	高度教職実践専攻 (教育方法学)	教員(小・中)	学校で授業研究を実際にされることを前提に引き受けることにしています。ひとりの教師や何人かの教師が、ある目的で授業研究されるのを参観し、その後の検討会に参加させていただくという形式です。その目的は、問いませんが、以下の教科に限らせていただきます。国語科、社会科、図工・美術科、道徳、総合の授業です。授業を改善するという目的でも、校内研究のテーマに即した授業研究でもかまいません。進め方などは相談に応じます。

分野	題名	講師	講座	対象	内容
教職 大学院	学校における 人材育成	前田 利幸 (まえだとしゆき)	高度教職実践専攻 (教師教育/ 学校経営)	若手～中堅教員(小・中) 管理職(小・中)	今日、学校現場では教職員の多忙化が深刻な課題であり、働き方改革の推進が求められています。さらに滋賀県の教職員の年齢構成からも学校現場での人材育成は喫緊の課題となっています。このような状況下、多忙な学校現場においていかに効率よく計画的に人材育成を進めるのか、また教育課題解決に向けていかに学校組織力を向上させていくのか、校長のリーダーシップとマネジメント力が求められます。 教員の各ステージに合わせて、明るく元気に学び続ける教職員を応援できるよう自身の経験を活かして研修を行います。
	障害のある 子どもの支援	山川 直孝 (やまかわ なおたか)	高度教職実践専攻 (特別支援教育)	教員(幼・小・中・高・特)	勉強が苦手だったり、集団生活になじめなかったりする子どもが少なくありません。障害の状態やそれに伴う学びにくさは多様かつ個人差が大きく、個別最適化した学びが求められます。心理アセスメントの紹介や気になる行動をする理由、子どもの長所を生かした対応などについて、自立と社会参加を見据えながら考えていきます。